



観光客で賑わいを取り戻した清水寺での毎月10日宣伝



(589号付録)

京都版 第446号

2023年7月15日

治安維持法犠牲者

国家賠償要求同盟

京都府本部

〒604-88324 京都市中京区

壬生下溝町51-41

TEL: 075-312-8787

FAX: 075-325-3863

E-mail

Info@kokubai-kyoto.com

ホームページ

<https://kokubai-kyoto.com>

私たちを取りまく

情勢と定例の清水寺宣伝

毎月10日の清水寺宣伝は、全国からの修学旅行生をはじめとする観光客が対象となります。

「ようこそ京都の清水寺のお参り、ありがとうございます。お寺の境内をおかりして、治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟の国会請願署名のご協力をおねがいでいます。かつての15年つづいたアジア・太平洋戦争では、お寺さんの梵鐘も金属供出として戦争遂行のため取り上げられたんです。お釈迦さんの教えの根本は、殺生はするなです。梵鐘など仏具が人殺しの武器にされたんです。戦争を二度とおこさないためには、侵略戦争に反対した人を当時の特高警察が、プロレタリア作

家・小林多喜二のように捕まえて拷問して虐殺した犠牲者に、国家が謝ることが必要ではないでしょうか、もう二度と侵略戦争はしません」と訴えています。

戦争か平和か」が問われる今

「台湾有事」は、「日本有事」と煽り立て、沖縄の南西諸島に敵基地攻撃能力の配備に向け、長射程ミサイルをアメリカからの爆買い、5年間で45兆円の大軍拡。戦争にならないように、国際紛争は話し合いでと訴えましょう。

毎年8月は「慰霊の月」。「新しい戦前」をつくらせない一人一人の語り掛けが大切です。

「平和のための京都戦争展」の案内と映画「わが青春つきるともー伊藤千代子の生涯」で国賠同盟の活動を知ってもらいましょう。

## 『新しい戦前許さず』

—いま京都学連事件を問う—  
勝村誠立命館大学政策科学教授  
の記念講演を聞く 佐藤和夫

立命館大学朱雀キャンパス  
の中川館で7月8日、国賠同  
盟京都府本部の「治安維持法  
研究会」のチューター役もして  
いる勝村誠教授が、「京都の民  
主運動史を語る会」総会で記  
念講演をしました。

「今や、『新しい戦前』が始  
まっているのでは」の声が、  
私たちの周囲からも聞かれま  
す。総戦力戦体制がつくりあ  
げられていく過程は、「治安維  
持法」で担保されていました  
同会は、「治安維持法100周  
年」を2年後に控えて、内地  
適用第一号だった「京都学連  
事件」の持った歴史的位位置  
づけが必要ではと、戦前の「大  
阪外語社研」研究会（成瀬龍

夫代表）の呼びかけに答え、

「プレ企画」として勝村誠教  
授の記念講演を行いました。

「学術・思想弾圧」の歴史は  
何を語るのか？

「菅義偉首相（2020年当  
時）日本学術会議の新委員の任  
命されるはずだった推薦者1  
05人を独断で識別し6人の  
任命を拒否するという前例な  
き暴挙に出ました。この事件を  
機に権力による学術・思想弾圧  
の歴史を振り返ると何がみえ  
てくるでしょうか」と会場に語  
りかけ、「京都学連事件」の検挙  
者の鈴木安蔵（戦後憲法学者）  
の回想を資料で紹介しました。  
—（学生社会科学研究会で使っ  
たテキストに）たまたま、プロ  
レタリア独裁などの章があり、  
「研究」したことが、治維法適  
用の事実として、「私有財産制  
度の否認」「社会主義、共産主義

の実現」を目的としての「協議」  
であるとされた。研究会でマル  
クスやレーニンの思想を研究  
し討論すること自体が、犯罪構  
成要件となったのが、「京都学  
連事件」だった。

権力は何を恐れたのか

—判決文（要旨）にみる

京都帝国大学社会科学研究  
会員の中で、大正14年3月  
ころ京都市内外の労働組合ま  
たは農民組合に於いて無産階  
級教育（プロレットカルト）  
に従事し、（一部略）無産階級  
教育に関する教育テーゼ及び  
教程を作成すべく基本方針を  
マルクス主義・レーニン主義  
におき、教育運動に従事した  
（要約をカタカナから読みや  
すくひらがなにした）  
要するに、労働者や農民に社  
会科学的物の見方を教え込め

うとしていることが、犯罪事  
実とされたわけだ。

学生たちは未熟だったが、真摯  
に時代をとらえつつあった！

検挙者の一人・栗原佑（た  
すく）は、「労働学校というの  
は教えるのではなくて、求道  
つまりそこで労働者から学ぶ  
（運動史研究11）と労働者  
教育の実態と目的を語ってい  
る。また、「プロカル運動は、  
本来的に一般社会から隔絶さ  
れている学生たちが、活きた  
社会的現実と接触しつつ行う  
自己修練の場と観念されてい  
た」（伊藤孝夫「大正デモクラ  
シー期の法と社会」・京都大学  
学術出版会、2000年）と  
いうものだった。（余談だが、  
さとうはそこに我が京都の  
「河上肇」的な求道者精神が  
息づいているなど感じた。）

「京都学連事件」は、何を社会にとりかけたのか？  
 1925年の検束で、大学界・世論から厳しい批判を浴び権威を失墜しかけた特高は司法省と綿密に打ち合わせたうえで、時機をとらえて治安維持法適用という「荒治療」にでた。

裁判がくだした量刑は決して重くはなかったが、大学・高等学校はこれにより完全に委縮した。被告をはじめとする学生たちは、より先鋭化する者と転進する者に分化していった。



治安維持法を厳刑に適用した京都学連事件報道解禁日の号外  
 「京都日日新聞」号外(大正15年9月15日)  
 『京都帝国大学学生運動』より

記事差し止め解除の京都日の出新聞号外  
 (大正15年9月15日)

**原田完前府会議員慰労会**

原田完前府会議員の慰労会が、7月2日(日)京都ガーデンパレスにて各界から121名が参加し開催されました。呼びかけ人を代表して、穀田恵二衆議院議員・国会対策委員長があいさつし、渡辺隆夫渡文株式会社代表取締役社長の乾杯の発生で進んでいきました。食事の後、西脇隆俊京都府知事、石田宗久府議会議長はじめ各界来賓6名から原田氏の5期20年の議員としての活動に触れながらの



慰労の言葉が述べられました。国賠同盟京都府本部からも代表4人が参加し長い議員活動を慰労しました。原田完さんは、第34回府本部総会(2019年)から京都府本部会長に就任し、府会議員団長としての多忙な中、国賠同盟府本部会長としても精力的に活動してこられました。

岸田政権が、戦争する国づくりを強力に進めるなか、原田府本部会長を中心に府本部活動をさらに前進させたいと考えています

**京丹後支部**

**第15回支部総会開催**

京丹後支部は、6月25日に第15回支部総会を開きました。

三野広海事務局長が開会挨拶を行い、「戦争か平和か

をめぐって」緊迫した情勢の中で、今期は映画「わが青春つきるとも」伊藤千代子の生涯」の上映会(昨年11月)に取組み、多くの方々の協力を頂き、目標の200人を超す来場者を得て成功し、その成果を今後の活動に生かそうと訴え、次に、前支部総会後になくなられた人の同盟員に対して黙祷を捧げ、志を引き継いで



頑張ろうと呼びかけました。来賓の挨拶では、最初に日本共産党の福代慶典地区委員長が行い、同盟府本部からは記念講演を兼ねて、原田完会長から6月の全国理事会の内容をふまえた報告と激励を受け、あわせて、藪田均男事務局長から府本部の取組み・京丹後の取組みの大きな前進を訴えられました。

総会は、活動報告と2023年度運動方針は松村支部長が報告提案し、決算報告と2023年度予算案は嶋崎会計が報告・提案、新役員体制は森副支部長が提案し、それぞれ質疑・討論の末、提案通り決定されま

した。

討論では、「署名1000筆やりたいと思って4日ほど集中して取り組み、70筆やれた。大事な署名なのでいつもの人だけでなく、勇気をもって、軒なみ訪問で取り組みができる」。又、上映会参加の友人が：感激して長野県の千代子の墓参りに行き、長い感想文を寄せてくれた。などの発言がありました。

京丹後支部 松村

お知らせ

治安維持法犠牲者国家  
賠償要求同盟京都府本部  
第38回本部総会

日時：9月9日(土)

午後1時30分～

会場：長浜バイオ大学  
京都キャンパス

※ ぜひ、ご参加ください

2023年

第43回平和のための「京都の戦争展」日時：8月1日(火)～8月6日(日)

場所：長浜バイオ大学京都キャンパス

治安維持法同盟「文化企画」として 映画「伊藤千代子の生涯」

「わが青春つきるとも」アンコール上映

戦争展最終日 8月6日(日)10時～(1回のみ上映)

※会場にて上映成功協力募金をお願いいたします